

官民が連携して循環経済に関する取組を推進し、国際的な議論をリードします。

1. 事業目的

- ① アジア各国の循環型社会の構築を推進する。
- ② CEチャレンジプロジェクト推進、国際標準化の議論への貢献により、循環経済に関する国際的な議論をリードする。
- ③ プラスチック廃棄物関連データの収集を支援することで、途上国の海洋プラスチックごみ対策の実効性を高める。

2. 事業内容

（1）アジア循環型社会構築検討調査

UNEP国際資源パネル（UNEP IRP）やOECD資源生産性・廃棄物作業部会（OECD WPRPW）での資源効率性に関する国際的な議論をリードする。また、3R目標の達成に向けた助言等を行い、アジア各国の循環型社会の構築を牽引する。

（2）循環経済構築推進事業

循環経済に係る野心的な目標を掲げる企業の取組等を促進するCEチャレンジプロジェクトを推進する。また、循環経済に関する国際標準化の議論に、我が国の取組や技術情報を積極的にインプットする。

（3）プラスチック廃棄物関連データ収集支援事業

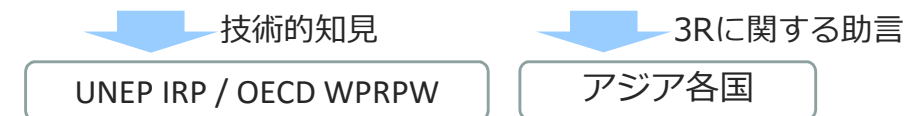
G20海洋プラスチックごみ対策実施枠組を踏まえ、アジア各国に対して廃棄物の発生量、適正処分量などのデータの収集・整理に関する能力構築支援を行い、海洋プラスチックごみ対策を推進する。

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者・団体
- 実施期間 平成21年度～

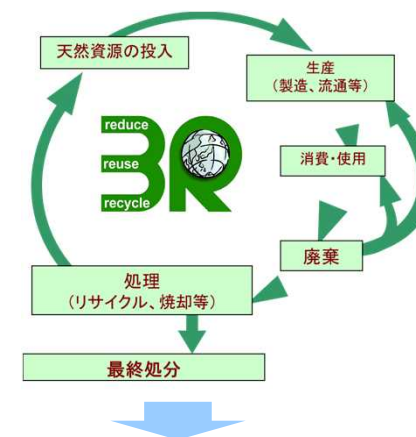
4. 事業イメージ

（1）アジア循環型社会構築検討調査



（2）循環経済構築推進事業

CEチャレンジによる企業の
野心的な取組の推進



国際標準化の議論にインプット

（3）プラスチック廃棄物関連データ収集支援事業

G20実施枠組のデータ収集支援

